

第6期三島地域委員会

三島地域の活性化に向けた提案(中間報告)

第一分科会 テーマ：三島の里山について

- 三島の里山の活用の問題点
 - ・里山や休耕農地の荒廃が進んでいる。(耕作者がいない：後継者の不足等)
 - ・既存の活動団体(三島ライトアップ実行委員会、みしまふるさと塾)以外の取組団体が無い。
 - ・里山の大切さに関する地域住民の意識が薄い。
- 今までの活動
 - ・三島の里山への理解を深めるため、里山資源を活用体験する意見交換会を開催。(6/11)
(参加者 26人)
 - ・里山資源を活用し、竹林の保全活動や特産品開発を行っている先進地の事例を視察(9/29)
(田上町：あじさい塾、参加者 12人)
- 三島の里山の活用に関する第一分科会の案
 - ・耕作放棄地の活用(ポポーやマコモダケ、蕎麦の栽培、朴葉の利活用による特産品開発等)
 - ・既存の活動団体への協力とバックアップによる活動支援
 - ・新規の活動団体の掘り起しと育成
(大杉公園指定管理者グリーン産業、みしまふるさと塾との連携)

第二分科会 テーマ：三島地域内における公園の活用について

- 三島中央公園の問題点
 - ・駐車場がなく、地域内外からの来訪者が車で行きにくい。
 - ・垣根の高さが高く、公園内の様子が道路などから見えづらいことから、防犯上あまり好ましくない状態。
 - ・公園の案内看板が木々で隠れていたりして分かりにくく、公園の存在自体が分かりにくい。
 - ・以前は循環していた池の水が循環していなく、たまり水から虫が湧く状態で不衛生。
- 今までの活動
 - ・産業建設課から分科会に出席してもらい、整備当初の公園のコンセプトや駐車場を整備するに当たり、物理的に整備が可能かなど様々な話を聞き意見交換した。(6月2日)
 - ・防犯上、垣根がどのくらいの高さが望ましいか、以前防犯の講義を受けた有識者から現地で意見を聴取した。(6月10日)
 - ・南側案内看板周辺の剪定作業を行い、どのくらいが望ましい状態か確認した。(7月30日)
- 公園の活用に関する第二分科会の案
 - ソフト的な活用方法を行うにあたり、まずは最低限のハード面の整備が必要
 - ・現在の駐輪場を駐車場に模様替え。
 - ・今後水を循環させることが無いことから、循環ポンプ設備の撤去
 - ・わかりやすい公園案内看板の作成・設置
⇒看板のデザイン(案)について、子ども達などの利用者に関わってもらってはどうか。
 - ・大杉公園の成功例を参考に、三島中央公園の指定管理化を検討してはどうか。
- 今後の予定
 - 区長会、利用団体(グランドゴルフなど)、コミセンまちづくり部会、一般住民などを対象に、地域委員会の活動内容及び取組趣旨説明会やワークショップを行い、周知・理解してもらおうとともに、意見聴取・情報交換を行う予定。